



枯れ葉舞う季節、日増しに寒くなってまいりましたが、皆様に於かれましてはお元気で過ごしのことと存じます。

令和6年9月定例会(第393回)は、9月18日から10月17日(30日間)まで開催されました。総額54億8200万円の補正予算案を含む20議案が原案通り可決、成立しました。

今回焦点となった宿泊税条例を含む全議案は可決され、宿泊税は、県議会が審議を付託している総務企画委員会で、賛否同数となり委員長採決で可決しました。

その後、付帯意見をつける形で宿泊税条例案は、本会議採決となりました。

修学旅行や部活動、保育園や認定こども園の活動での宿泊は課税を免除すること、課税期間は定めず、はじめは3年程度、その後は5年ごとに検証することになっています。導入時期は2025年11月ごろの見込みです。

今回の定例会では、流域治水と農業農村の大綱2点について、質問をさせていただきました。

監査委員の任期を終え、一般質問は令和3年9月10日以来であり、久々の緊張感を味わいました。(質問の一部を次ページに掲載しておりますので ご覧ください)

今後も「暮らしやすい宮城」を目指し精力的に活動して参ります。

これから寒さに向かいますのでくれぐれもご自愛ください。

宮城県議会議員 **わたなべ 忠悦**

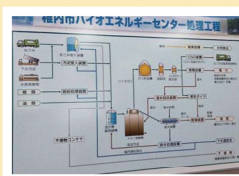
活動アルバム



六ヶ所村
視察▶▶



札幌ホテル・旅館協同組合の方々と宿泊
税について



がんばろう!宮城
佐賀国体報告会▶



稚内市バイオエネルギーセンター視察



宮城・山形県議会議員交流

トピックス

登米の豊かさを再発見

韓国キム・ヨサプ総領事と一緒に歩く

登米コースイベント開催(9月14日)

宮城オルレ登米コース

平筒沼ふれあい公園内の平筒沼ふれあい橋リニューアルオープンについて

これまで平筒沼ふれあい公園内の平筒沼ふれあい橋の一部損傷に伴い、利用を停止しておりましたが、令和6年3月19日に復旧いたしました。これまでご不便をおかけしておりましたが、今後は正規ルートでのオルレをお楽しみいただけます。

「登米コース」は、令和2年3月21日オープンいたしました。豊里公民館を出発し、登米市の象徴ともいえる田園風景や雄大な旧北上川の流れ、地域の歴史や文化にふれながら平筒沼ふれあい公園を目指すコースです。約11kmの初級コースで所要時間は休憩なども含め4〜5時間程度となっております。

コース上にある目印となる標識を見つけながら、自然を身近に感じ、自分なりにゆっくり楽しみながら、歩いてみてはいかがでしょうか。



令和6年9月 定例議会 一般質問 質疑要旨&回答要旨

林業



質問

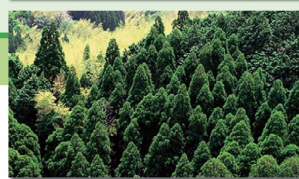
治山の認識について

集水域においては、緑のダムといわれる森林の活用が非常に大切と考えますが、治山について認識をお伺いいたします。

森林【答弁】土木部長

治水や河川整備等の取組と連携し、多様な森林づくりや治山対策を進めていくことにより、上流域の保水力を高め、流域全体の治水対策が促進されるよう、取り組んでまいります。

流域治水対策



豊かな森林は宮城の宝。森林の治山対策の促進は防災にも通じる。

山元への手当について



質問

我が県の森林は本格的な利用期と言われているが、皆伐後に植林されないところもあり、治山事業等の従来事業だけでは、山元への手当が不十分と思うがどうお考えですか。

森林【答弁】水産林政部長

森林組合等の関係者と連携を図りながら、山元の利益がしっかりと確保され、持続可能な林業が実現できるよう、取り組んでまいります。

治山事業持続問題



伐採跡に植林されないまま放置されている山も多い。山元への手当をもっと手厚くできないものか

水防計画、水防団の訓練等について



質問

水災を警戒、防御し、被害を防ぐための基礎自治体職員及び水防団の水防計画や技術的訓練、指導は十分か。また、水防団を兼ねる消防団の定員割れが続いている事について、どの様にお考えですか。

河川【答弁】土木部長

「宮城県水防計画」を策定し、訓練を通じて技術の向上に取り組んでおり、消防団の魅力発信にもつとめております。引き続き関係機関と緊密に連携しながら、水防体制の強化や人員確保に取り組んでまいります。

水災害防止計画



水災など、災害が増え続けている現状では、消防団の人員確保や訓練など、自治体の活動の強化が急務。

集落の共同作業について



質問

近年、農道、水路の除草、泥上げなどの集落の共同作業への参加が、少子高齢化等により減少しており、この状況を放置すると農村の荒廃を防げないと考えますが、認識と対策をお伺いいたします。

農村【答弁】農政部長

高齢化等による参加者の減少やまとめ役のなり手不足などが課題となっていることから、機械による除草などの省力化の推進や、関係団体への事務委託等による負担軽減を図ることで活動の継続を支援してまいります。

維持管理課題



農業用施設整備を維持管理するには既に高齢化した集落の力だけでは不十分。業務委託等早急の対策が必要。

農村環境

再圃場整備について



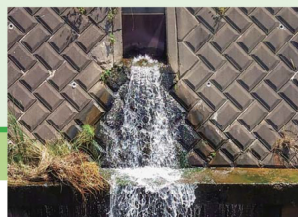
質問

国営用排水施設の更新に併せて大区画化や用排水路の暗渠化、畦畔の削減、農道のかさ上げによる貯水量の増加、水口を田んぼダム仕様にした再圃場整備を実施してはどうですか。

圃場【答弁】農政部長

2ヘクタール区画や農道整備と併せた用排水施設の地中埋設を標準化し、水口は田んぼダムに対応可能な仕様として進めております。大規模かつ競争力の高い経営体の育成に資する区画整備と併せて洪水被害を緩和する田んぼダムの取組を支援してまいります。

圃場整備問題



例えば農用排水路等を暗渠にするなど整備を行えば施設の傷みを防ぎ農村の発展にも貢献できる。

